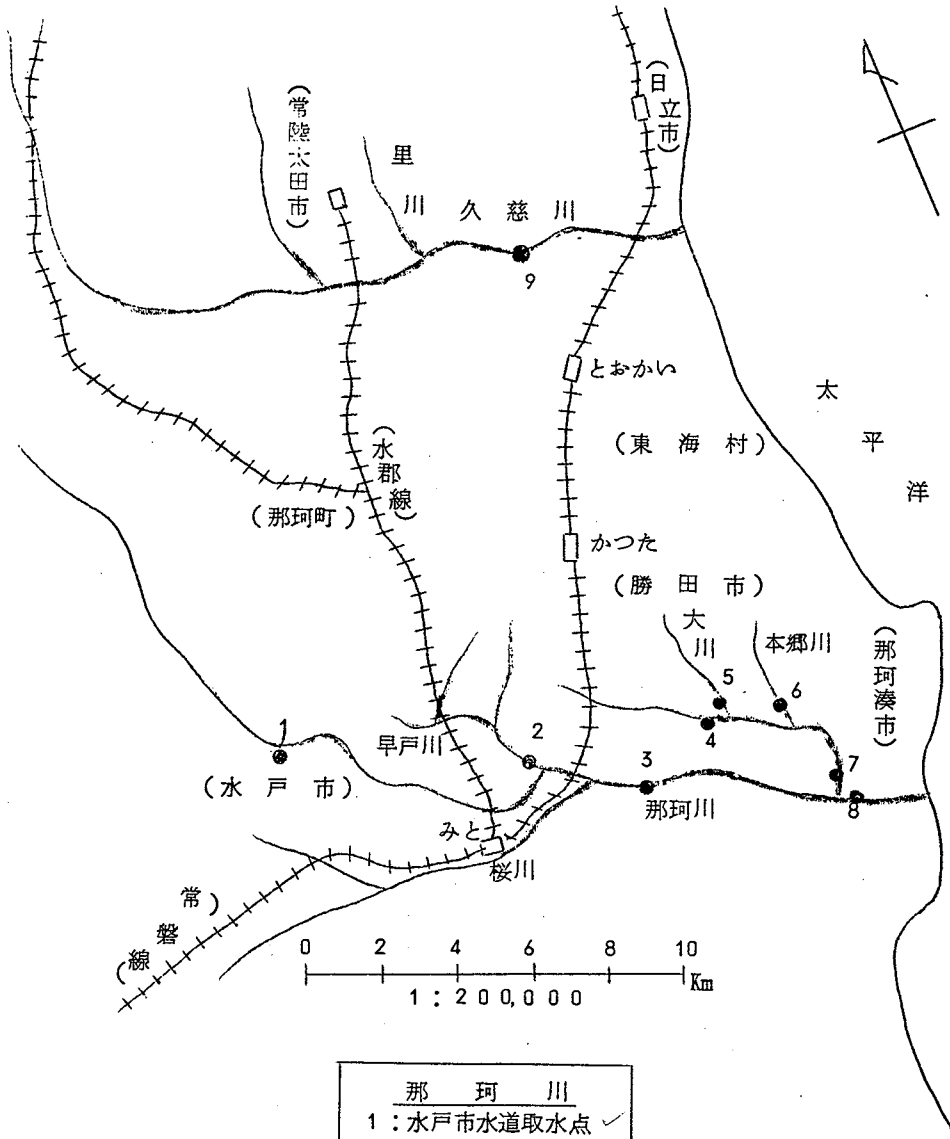
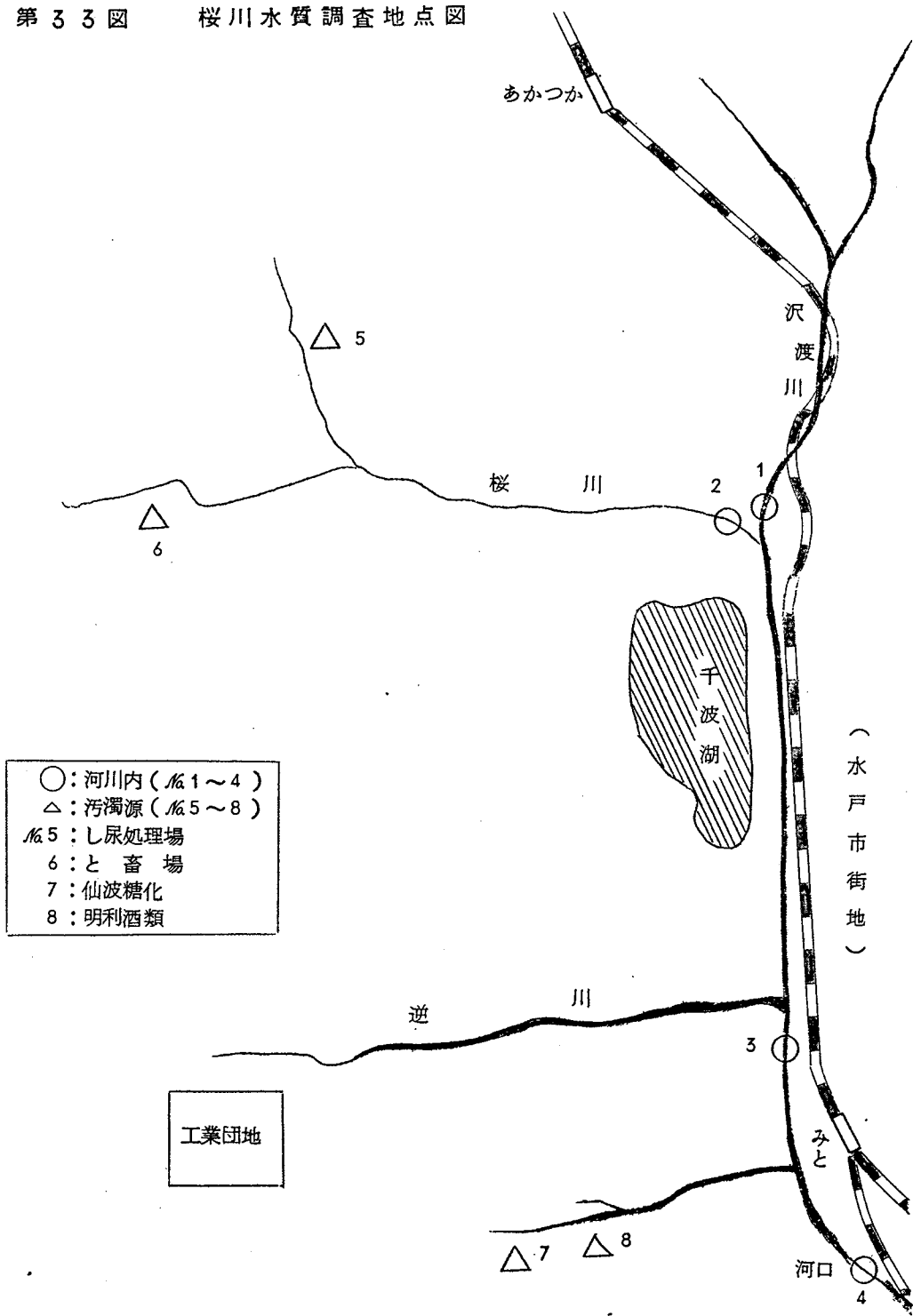


第31図 那珂川，久慈川水質調査地点図



- | 那 珂 川 |            |
|-------|------------|
| 1     | 水戸市水道取水点 ✓ |
| 2     | 早戸川        |
| 3     | 勝倉橋 (勝田町)  |
| 4     | 中丸川 (長者橋)  |
| 5     | 大川 (中丸川系)  |
| 6     | 本郷川 (中丸川系) |
| 7     | 中丸川下流      |
| 8     | 湊大橋        |
| 久 慈 川 |            |
| 9     | 榊橋下        |

第 3 3 図 桜川水質調査地点図



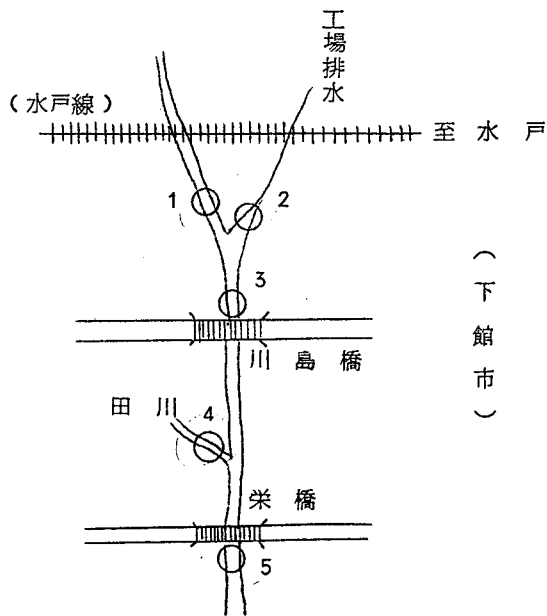
2) 鬼怒川, 小貝川

本水域の調査地点は、昨年引き続き鬼怒川水系においては下館地区を中心に5ヶ所、小貝川は文巻橋（国道6号線との交差点）の地点において調査を行なっている。その地点は第34～35図に示すとおりである。調査結果を地点別に整理して、各月における試験項目及び平均値を示したのが第21～26表である。また前年度と比較した第36図によるとCOD, BOD, NH<sub>3</sub>-Nとも20～30%増加しているが、とくにNH<sub>3</sub>-Nは昨年度の2倍から3倍もの著しい増加を示し、那珂川の支派川と共通の傾向をみせている。

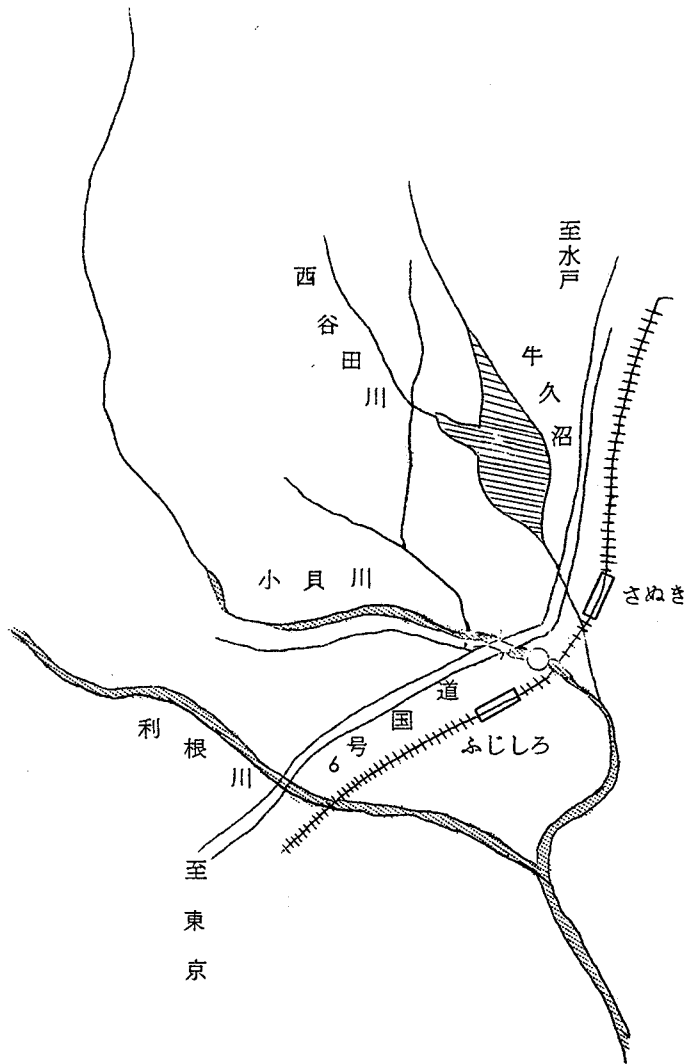
鬼怒川本川は、比較的きれいであるが、わずかずつ水質悪化の傾向がみられる。すなわちpHでは僅かながらアルカリ性の傾向がみられるが、その多くは㊦2地点に流入する工場排水と上流部の影響によるものと思われる。

本水系は㊦2の地点を除いてCOD:BODが1.3～1.6であり、那珂川水系のCOD:BODが0.6～1.3に比較してCODが大きな値を示している。小貝川のCOD:BODは1.1～4.85で平均1.95と高い値を示し、都市下水等による汚染が少ないことを示している。小貝川は鬼怒川水系の水質悪化に較べ、かなり清浄であるが、今後筑波研究学園都市の排水、或るいは流域の開発に伴う排水等による汚染を十分に監視する必要がある。

第34図 鬼怒川水質調査地点図



第 3 5 図 小貝川水質調査地点図



○ 小貝川・文巻橋

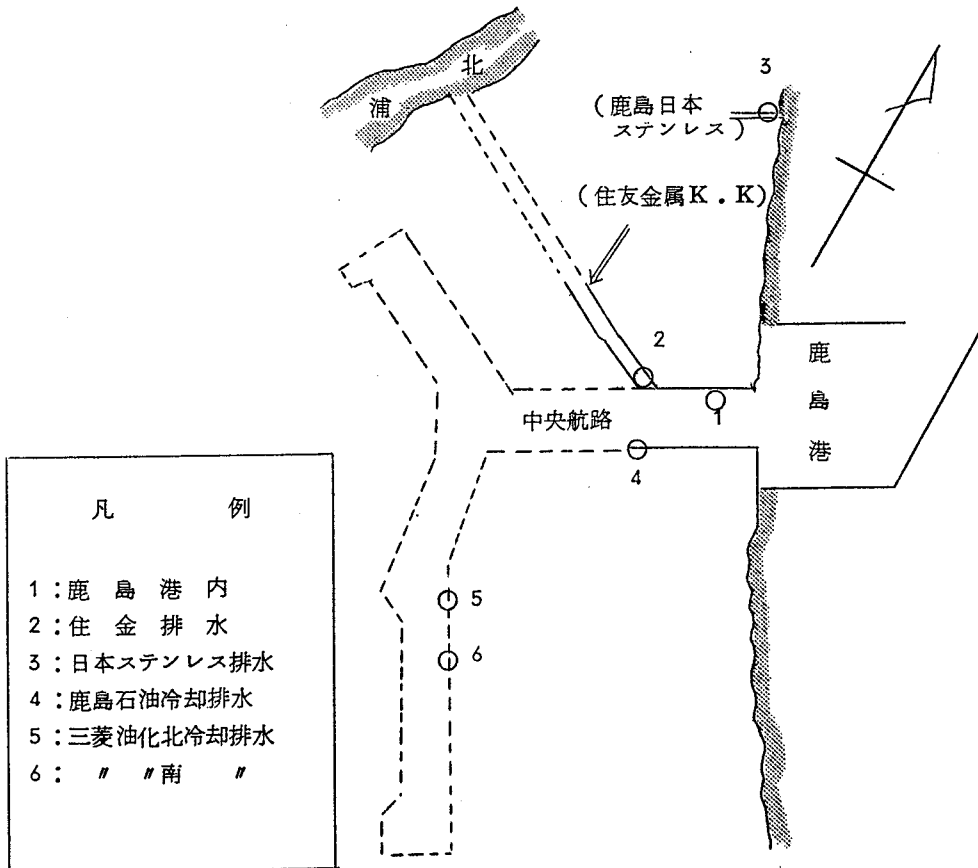


### 3) 鹿島水域

鹿島における立地企業は43年、住友金属の一部操業に始まり、44年、鹿島ステンレス、45年後半に鹿島石油、三菱油化などが操業を開始したため、測定地点は第37図のとおり45年前半は3ヶ所、後半より6ヶ所に増加して調査した。46年はこの地域の本格的操業により工場、海域とも大幅に測点がふえるみこみである。

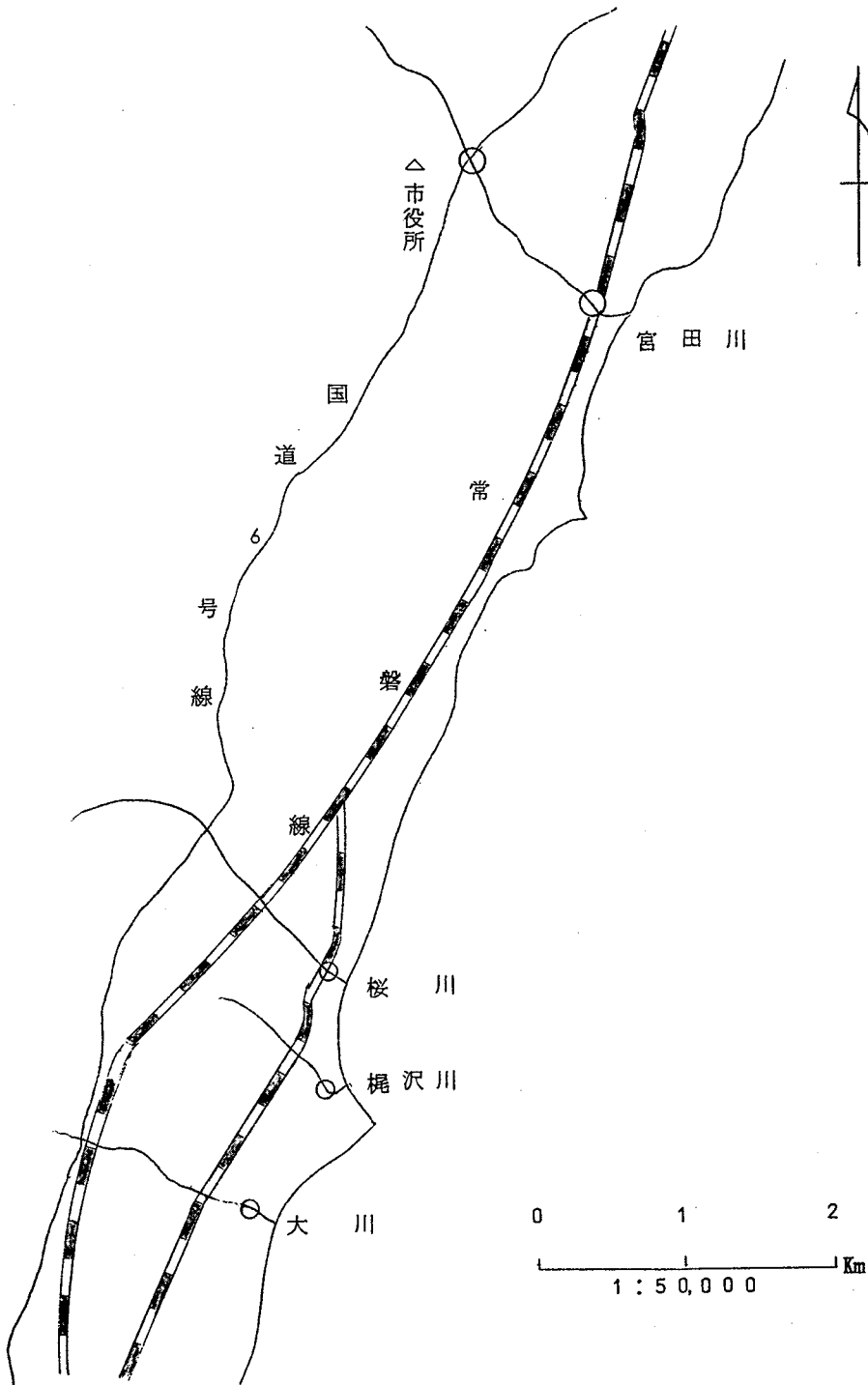
調査結果は、第27～30表に示したとおり各地点ともきわだった変化はなく、ほとんどの項目が低い値を示している。ただし工場の作業内容により排水中にCr、Fe等がみられるものがあるので、今後金属汚染については十分監視する必要がある。各工場排水（冷却水として海水を利用）、海域とも当然ながら $Cl^-$ の値が大きく、pHも8.0前後である。また、採水時に油膜が見られる工場もあるので港湾、海域の汚染についても監視を強化する必要があると思われる。

第37図 鹿島地区水質調査地点図



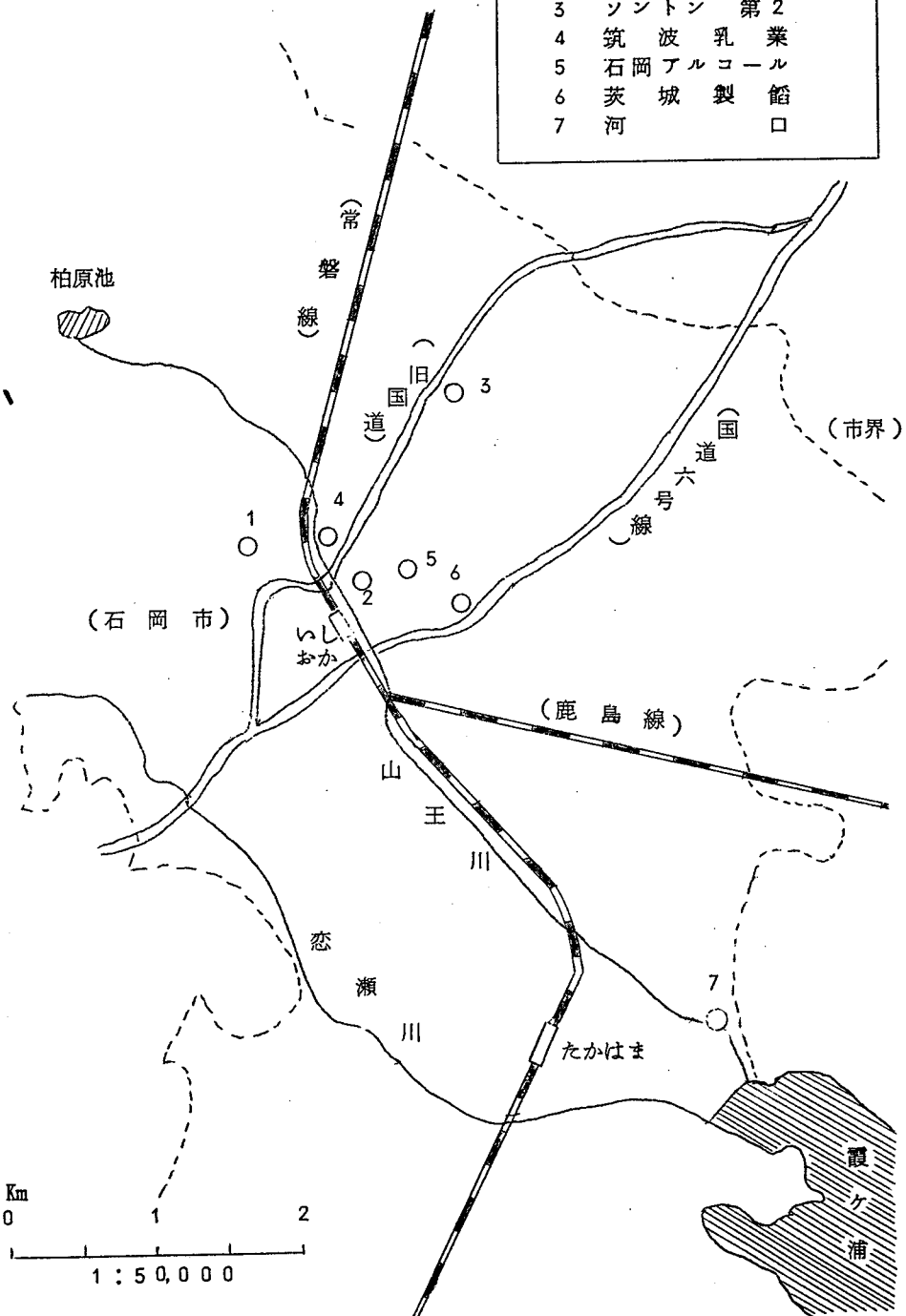
第 3 8 図

日立市内河川略図

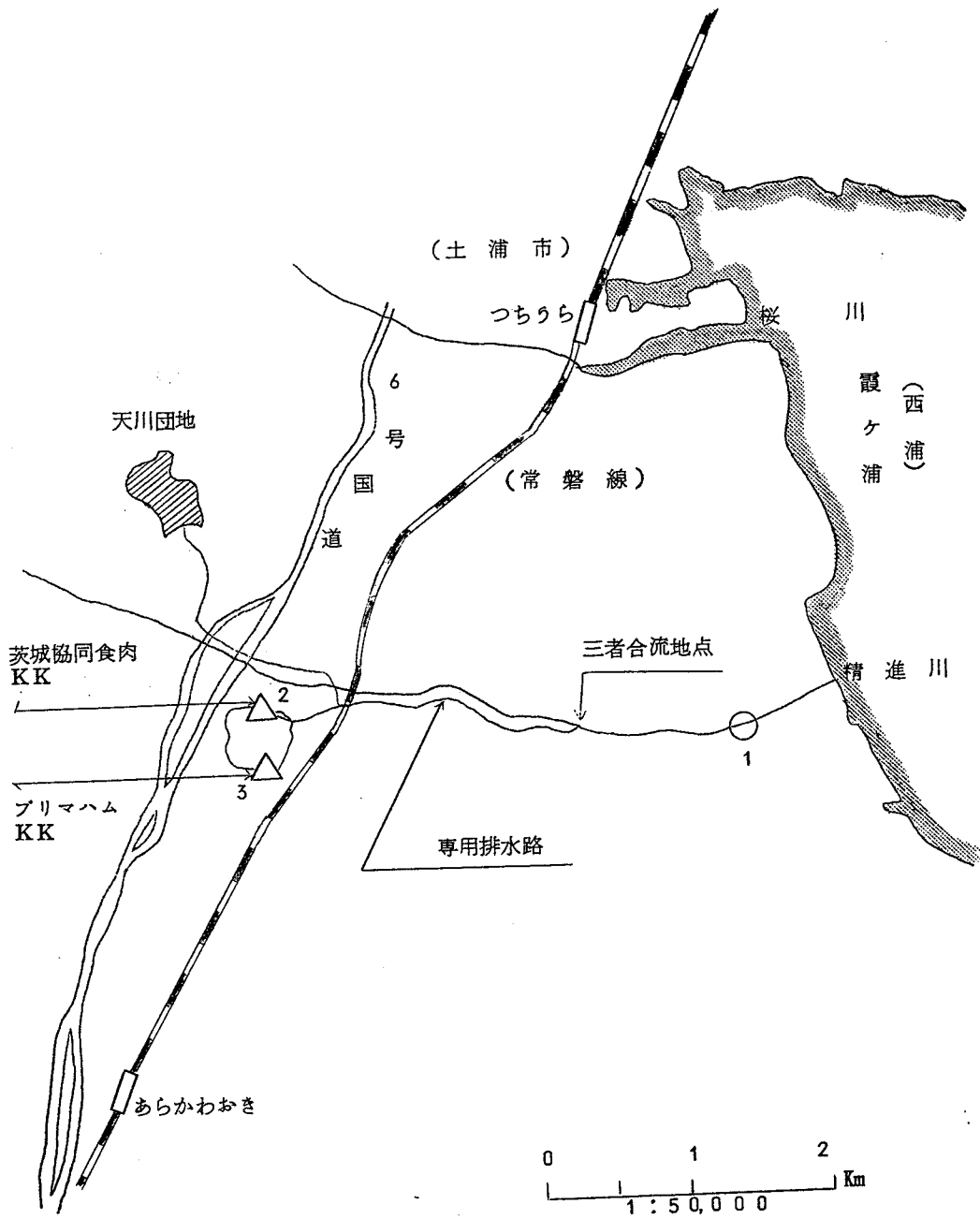


第39図 山王川水質調査地点図

採水地点	
1	神栄生糸
2	ソントン第1
3	ソントン第2
4	筑波乳業
5	石岡アルコール
6	茨城製餡
7	河



第 4 0 図 精進川水質調査地点図





第 3 9 図 清明川水質調査地点図

